

2025年度版

メンテナンス・サービス企業の 実態調査報告書

2026年3月

JAMSEC
Japan Association of Maintenance and Service Contractors

一般社団法人

日本メンテナンス工業会

調査統計委員会

メンテナンス・サービス企業の実態調査

調査統計委員会
委員長 宮脇 明

はじめに

前回の調査（2022 年）以降国内では新型コロナウイルス感染も終息が発表され、会員企業に於かれましては、まずは一安心されていると思います。しかしながら、物価高、資材等の高騰、材料調達の遅延、更に 2025 年も変わらず円安、電気料金の値上げなど、世界経済の先行きが更に不明瞭な状況です。その影響を受けながら、メンテナンス業界は前回調査以降も変わらず仕事の需要は増しているものの、メンテナンス技術者、技能者、監督者の人員不足の解決については、まだまだ 時間を要するものと判断しています。

本報告書は、日本メンテナンス工業会会員企業に対して、3 年毎に調査を行うものであり、今回は 2025 年に調査した結果（2024 年度実績）をまとめたものとなります。回答データの内容不備を除き有効データのみを分析し、少しでも実態に合致するよう努力致しました。

参考資料として見て頂ければ幸いです。

今回、回答を頂いた企業数は 112 社（2022 年度調査は 97 社）。この内 104 社に於けるメンテナンス売上高は 13,929 億円（2022 年度調査は 12,455 億円）となっており、総売上高 65,006 億円に対する メンテナンス売上高比率は約 21%、社員メンテナンス要員数は、前回より約 5%減の 29,277 名となっています。従事者の年齢層推移は、前回調査と差ほど変わらず横這いで推移していますが、若干ではあるものの 20 歳代が 2.4%ほど減っています。60 歳代は増加傾向で 2.7%増となっています。かつ平均年齢は 43.0 歳（2022 年度調査は 41.8 歳）となり、高齢化は若干ですが増加となっています。一方では長時間労働などの規制も重なり、メンテナンス業務の発展の為には引き続き人材確保、多能工化を推進する必要があります。

メンテナンス・サービス業界に於きましては、国内外のメンテナンス市場動向への柔軟な対応及び、大きな課題でもあります人材確保、人材育成、技術・技能の伝承等の問題が山積みとなっております。本報告書をこれらの問題を解決する手がかりとして役立てて頂ければ幸いです。

今回アンケートにご回答協力頂きました会員各社に心から御礼申し上げます。なお、前回同様、今回の報告書の各データにつきましては、実施年毎にアンケートにご回答頂く企業数の違いや一部の企業形態の変化等もあり、過去データとの比較は実態を的確に反映するものではありません。従いまして今回も 2025 年度調査（2024 年実績）のデータを分析し、過去のデータを、参考という形で記載しております。その主旨を十分にご理解頂き、本報告書をご参照頂きますようお願い申し上げます。

アンケート調査と分析方法

アンケート集計結果

単位：社

代表業種	分 類	回答数	割合
総 合	メンテナンスに関わる全般を行う企業	27	24%
機 械	主として機械設備のメンテナンスを行う企業	49	44%
電気・計装	主として電気・計装設備（監視設備）のメンテナンスを行う企業	11	10%
その他	上記以外の企業	25	22%
合 計		112	100%

1.目 的

メンテナンス・サービス企業における業界の実態調査を行い、業界の地位向上を目指す。

2.対 象

日本メンテナンス工業会の会員

3.分析方法

主として、下記の 3 種類の切り口で分析した。

なお、各設問に対して有効な回答が得られたデータを集計しており、設問ごとに結果が異なる場合がある。

1)「代表業種」

総 合 ： メンテナンスに関わる全般を行う企業

機 械 ： 主として機械設備のメンテナンスを行う企業

電気・計装 ： 主として電気・計装設備（監視設備）のメンテナンスを行う企業

そ の 他 ： 上記以外の企業

2)「企業形態」

メ ー カ 系 ： 設備メーカー及びその系列企業

ユ ー ザ 系 ： 設備ユーザーおよびその系列企業

独 立 系 ： メーカー系、ユーザー系でない企業

3)「メンテナンス売上高規模」

大 規 模 ： メンテナンス売上高 125 億円以上の企業

中 規 模 ： メンテナンス売上高 30 億円以上の企業

小 規 模 ： メンテナンス売上高 30 億円未満の企業

4. アンケート内容

アンケート用紙を巻末に示す。

5. 調査データ

2024 年度実績データ（調査は 2025 年 10 月に実施）

【目 次】

I. 総売上高	
1. 総売上高	1
2. 企業数	1
3. メンテナンス比率	3
II. メンテナンス売上高	
1. メンテナンス売上高	5
参考：メンテナンス売上高推移	9
III. メンテナンス売上高構成	
1. 契約別メンテナンス売上高比率	1 0
2. 保全種類別メンテナンス売上高比率	1 2
3. 親会社以外の売上	1 4
4. 業務内容別売上高比率	1 4
5. 詳細データ	1 6
IV. 外注費および外注比率	
1. 代表業種別／企業業態別	2 0
2. 外注比率内訳 費用別	2 1
3. 外注比率内訳 業種別	2 2
V. メンテナンス体制	
1. メンテナンス人員構成	2 4
参考：人員構成の推移	2 5
2. 専門技術別人員構成	2 6
3. 専門技術別外注比率	2 7
4. 年齢層別人員構成	2 9
参考：年齢層分布の推移	3 2
5. 専門技術分野別	3 3
VI. 海外メンテナンス体制	
1. メンテナンス体制	3 9
2. メンテナンス対象	4 0
3. 今後の方向	4 0
VII. 総括	
1. メンテナンス売上高について	4 1
2. 外注費および外注比率	4 1
3. メンテナンス体制	4 1
4. 海外メンテナンス体制	4 1
 (巻末資料) アンケート回答用紙	 4 2